



ビル用 Low-E 複層ガラス

サンバランス®

AGC

Your Dreams, Our Challenge



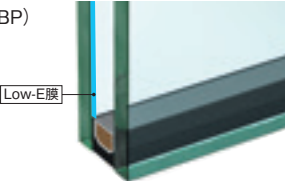
明るく高性能なLow-E複層ガラスのラインナップ

採光性を確保しながら、断熱・遮熱性能を追求したLow-E複層ガラス「サンバランス®」。
豊富な品揃えで、建物や地域などに応じて自由にお選びいただけます。

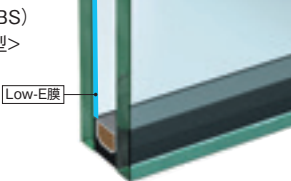
▼バリエーション(ビル用)

標準色

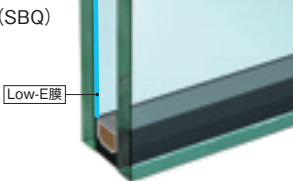
ピュアクリア (SBP)
<日射取得型>



シルバー (SBS)
<日射取得型>



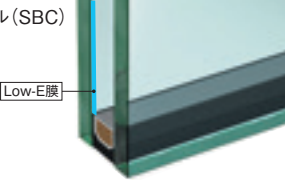
アクアグリーン (SBQ)
<日射遮蔽型>



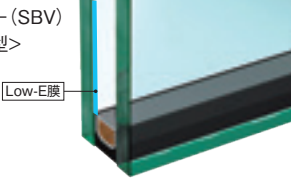
準標準色※1

スーベリアクール (SBC)
<日射遮蔽型>

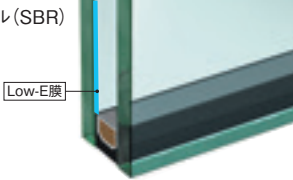
新商品



ブルーグレー (SBV)
<日射遮蔽型>



プレミアムクール (SBR)
<日射遮蔽型>



豊富な品揃え、大きなサイズなど、さまざまなニーズにお応えできます。
AGCではスパッタリング法※2でLow-Eガラスを生産しています。一般的に、断熱性能・遮熱性能は銀1層、銀2層※3の順で高くなります。
※2 スパッタリング法とは、大きな容器の中を真空中に、特殊ガスを極微量注入後、電圧をかけることで製膜する方法です。銀・酸化スズなど、金属の組み合わせと厚み構成によって、異なった性能・色調がつけられます。
※3 銀1層の品種ピュアクリア、シルバー 銀2層の品種スーベリアクール、ブルーグレー、プレミアムクール、アクアグリーン

				光学性能		熱的性能		
品種(商品名)			反射色調	可視光 反射率(%)	可視光 透過率(%)	遮蔽係数 (SC値)	日射熱取得率 (η値)	熱貫流率(U値) W/(㎡・K)
標準色	サンバランス アクアグリーン	SBQ6+A12+FL6	グリーン系	13.8	70.8	0.43	0.38	1.6
	サンバランス ピュアクリア	SBP6+A12+FL6	クリア系	12.9	77.2	0.59	0.52	1.6
	サンバランス シルバー	SBS6+A12+FL6	シルバー系	18.3	71.3	0.62	0.54	1.8
準標準色	サンバランス スーベリアクール	SBC6+A12+FL6	ブルー系	23.4	41.3	0.27	0.24	1.6
	サンバランス ブルーグレー	SBV6+A12+FL6	ブルーグレー系	13.0	42.6	0.32	0.28	1.7
	サンバランス プレミアムクール	SBR6+A12+FL6	ブルー系	21.2	58.0	0.35	0.31	1.6

※準標準色は受注生産となりますので納期は別途お問い合わせください

日射熱取得率(η値)比較

日射熱取得率 (η値) 反射色調	0.25	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50	0.55	0.60
クリア系	一般に商業ビルでは 日射熱取得率(η値)の小さい ガラスの方が空調負荷の 削減に効果的です					ピュアクリア／銀1層 高い可視光透過率		
グリーン系						アクアグリーン／銀2層 		
ブルー系／ シルバー系	スーベリアクール／銀2層 高い遮熱性能		プレミアムクール／銀2層 高い遮熱性能			シルバー／銀1層 		
ブルーグレー系	ブルーグレー／銀2層 高い遮熱性能							

ガラスの選定に求められる熱・光学特性

採光性能

ガラスを通して目に見える光が入り込む割合を示す指標。

室内の明るさをより明るくするには、可視光透過率の高いガラスが有効です。

可視光透過率(%)

遮熱性能

ガラスを通して室内に日射を取り込む割合を示す指標。

商業ビルにおいて**遮熱性能を高める**には、日射熱取得率の小さいガラスが有効です。

日射熱取得率

断熱性能

室内外の温度差によって流れる熱の量を示す指標。

断熱性能を高めるには、熱貫流率の小さいガラスが有効です。

熱貫流率[W/(m²・K)]

ガラスの選択時には断熱・遮熱性能はもちろん、採光性の確保も重要です。

窓から出入りする熱をコントロールしながら、光を最大限に採り込む事ができる明るいガラスが求められています。

「サンバランス」は省エネ効果が高く建物の冷暖房負荷を低減でき、CO₂の排出抑制にも貢献。

同時に自然光による適度な室内の明るさを演出できるバランスのとれた製品です。

目的に合わせて、様々なラインナップからお選びいただけます。

図1 各種ガラスの日射熱取得率と熱貫流率の関係

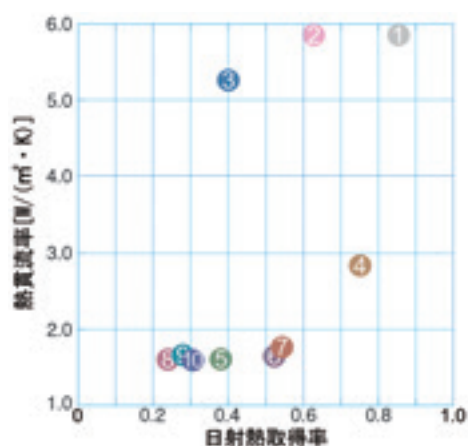


図2 各種ガラスの可視光透過率と日射熱取得率の関係

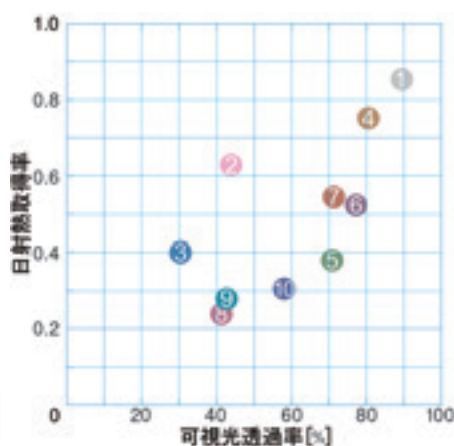


図1 は、各種ガラスの熱貫流率と日射熱取得率の関係を、図2 は各種ガラスの可視光透過率と日射熱取得率の関係を示したものです。これらの図から、いろいろな特性を持ったガラスが品揃えされており、要求に合わせて、適切なガラスが選択できることがわかります。

●Low-E複層ガラスの日射区分について

建築物省エネルギー法では、ガラスの熱性能について、Low-E複層ガラスは、JIS R 3106の夏期の日射熱取得率の値が、0.50以上のものを「日射取得型」0.49以下のものを「日射遮蔽型」と区分しています。また建築研究所が公開する、平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報では、建築物省エネ法で用いられるガラスの熱性能についてLow-E複層ガラスは、ガラスの層数、厚み、中空層の厚み、Low-Eガラスの配置、中空層の気体の種

類によらず、次に示す基本構成のLow-E複層ガラスの日射熱取得率の値で区分しても良いことになっています。

基本構成のLow-E複層ガラス

Low-Eガラス(3ミリ) + 空気層(12ミリ) + 透明フロート板ガラス(3ミリ)
[室外側] [室内側]

当社のLow-E複層ガラスでは、サンバランスピュアクリア、及びサンバランスシルバーを「日射取得型」、これら以外のサンバランスを「日射遮蔽型」と区分しています。

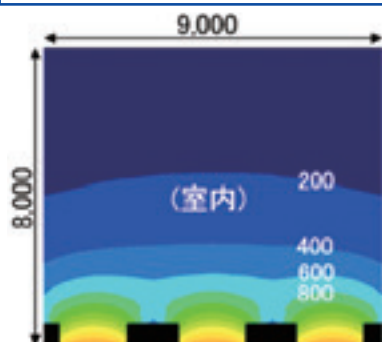
種類	
①	透明板ガラス FL6
②	熱線吸収板ガラス(サンユーログレー) GEFL6
③	熱線反射ガラス サンルックス(TSL30) TSL30-6
④	透明複層ガラス FL6+AI2+FL6
⑤	Low-E複層ガラス(日射遮蔽型) サンバランス(アクアグリーン) SB06+AI2+FL6
⑥	Low-E複層ガラス(日射取得型) サンバランス(ピュアクリア) SBP6+AI2+FL6
⑦	Low-E複層ガラス(日射取得型) サンバランス(シルバー) SB06+AI2+FL6
⑧	Low-E複層ガラス(日射遮蔽型) サンバランス(スーパリアクール) SB06+AI2+FL6
⑨	Low-E複層ガラス(日射遮蔽型) サンバランス(ブルーグレー) SBV6+AI2+FL6
⑩	Low-E複層ガラス(日射遮蔽型) サンバランス(プレミアムクール) SBP6+AI2+FL6

快適な環境づくりに「サンバランス」が貢献します

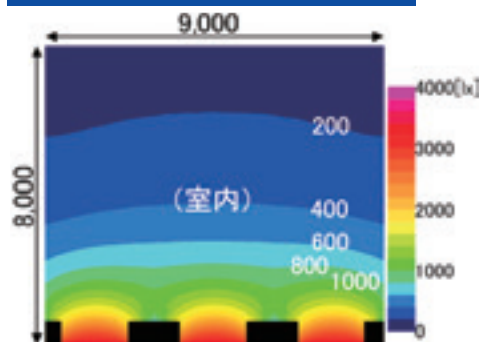
室内の照度シミュレーション

熱線反射ガラス サンルックスベアガラスTSL30 (TSL30-6+A12+FL6:η値0.31)とサンバランススーパーアクール(SBC6+A12+FL6:η値0.24)で、室内の照度シミュレーションをおこないました。日射熱取得率はサンバランススーパーアクールが小さくなりますが、可視光透過率はサンルックスベアガラスTSL30は27.6%、サンバランススーパーアクールは41.3%と、サンバランスの方が大きくなります。この差が自然光を窓際に取り込む室内照度分布の違いとなっています。

熱線反射複層ガラス
サンルックス ベアガラス
TSL30-6+A12+FL6 (日射熱取得率0.31)



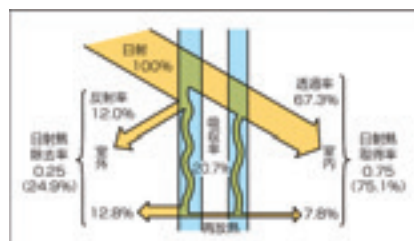
Low-E複層ガラス
サンバランス スーパーアクール
SBC6+A12+FL6 (日射熱取得率0.24)



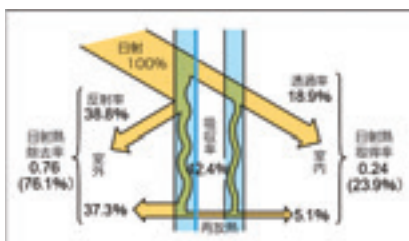
※ビル基準階の照度分布シミュレーション条件
(計算ソフト:AGCオリジナル)
東京、冬至の昼、北側窓近傍における机上上面照度分布
開口部サイズ 2,200mm(W)×2,700mm(H)
サンルックスベアガラス TSL30-6+A12+FL6
可視光透過率27.6% 日射熱取得率0.31
サンバランススーパーアクール SBC6+A12+FL6
可視光透過率41.3% 日射熱取得率0.24

※本検討結果はAGCシミュレーションによるもので、各商品の性能を保証するものではありません。室内照度はガラス以外の壁や床の影響も受けます。サンバランススーパーアクールを使用した場合に顕著な効果がみられない場合もあります。

遮熱のしくみ



透明複層ガラス
FL6+A12+FL6

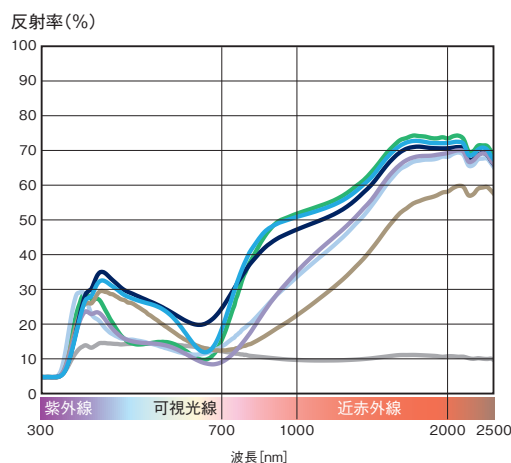
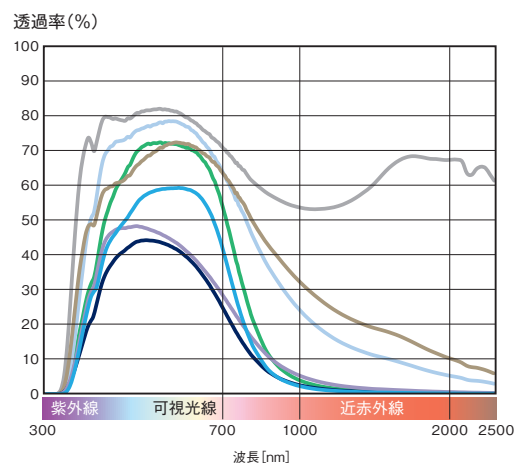


Low-E複層ガラス
サンバランス スーパーアクール
SBC6+A12+FL6

ポイント

「サンバランス」は、日射の直接透過を小さくすることで、日射熱取得を大幅に低減します。

サンバランスの分光光学特性



- サンバランス アクアグリーン
- サンバランス ピュアクリア
- サンバランス シルバー
- サンバランス スーパーアクール
- サンバランス ブルーグレー
- サンバランス プレミアムクール
- 透明複層ガラス

※透明複層ガラスはFL6+A+FL6
サンバランスは⑥ミリ+A+FL6
⑥: Low-Eガラス6ミリ

ポイント

「サンバランス」は、近赤外線の波長域の透過率を低くすることで、高い遮熱性能を発揮します。

サンバランス® 熱・光学性能値

	品 種 (商品名)		呼び厚さ (ミリ)	光学性能						熱性能		
				可視光 (%)		日射 (%)			紫外線 (%)	遮蔽係数 (SC値)	日射熱取得率 (η値)	熱貫流率(U値) W/(m ² ・K)
				反射率	透過率	反射率	透過率	吸収率	透過率			
標準色	アクア グリーン	SBQ6+A6+FL6	18	13.8	70.8	35.8	33.4	30.8	17.1	0.45	0.39	2.4
		SBQ6+A12+FL6	24							0.43	0.38	1.6
		SBQ8+A6+FL8	22	13.7	70.1	33.0	32.5	34.6	16.5	0.44	0.39	2.4
		SBQ8+A12+FL8	28							0.43	0.38	1.6
		SBQ10+A6+FL10	26	13.5	69.0	30.0	31.3	38.7	15.4	0.44	0.39	2.4
		SBQ10+A12+FL10	32							0.43	0.37	1.6
		SBQ12+A6+FL12	30	13.1	67.2	26.0	29.5	44.4	14.0	0.44	0.38	2.4
		SBQ12+A12+FL12	36							0.42	0.37	1.6
	ピュア クリア	SBP6+A6+FL6	18	12.9	77.2	27.8	46.4	25.8	27.1	0.60	0.53	2.5
		SBP6+A12+FL6	24							0.59	0.52	1.6
		SBP8+A6+FL8	22	12.7	76.4	25.8	44.4	29.8	26.1	0.59	0.52	2.4
		SBP8+A12+FL8	28							0.58	0.51	1.6
		SBP10+A6+FL10	26	12.5	75.2	23.6	42.2	34.2	24.4	0.58	0.51	2.4
		SBP10+A12+FL10	32							0.57	0.50	1.6
		SBP12+A6+FL12	30	12.1	73.2	20.8	38.9	40.3	22.2	0.56	0.49	2.4
		SBP12+A12+FL12	36							0.55	0.48	1.6
	シルバー	SBS6+A6+FL6	18	18.3	71.3	24.6	47.7	27.7	30.0	0.62	0.55	2.5
		SBS6+A12+FL6	24							0.62	0.54	1.8
		SBS8+A6+FL8	22	18.1	70.5	23.1	45.4	31.6	28.8	0.61	0.54	2.5
		SBS8+A12+FL8	28							0.60	0.53	1.8
		SBS10+A6+FL10	26	17.8	69.4	21.5	42.7	35.8	26.7	0.59	0.52	2.5
		SBS10+A12+FL10	32							0.59	0.52	1.7
		SBS12+A6+FL12	30	17.3	67.6	19.3	39.0	41.7	24.0	0.57	0.50	2.5
		SBS12+A12+FL12	36							0.56	0.49	1.7
標準色	スーペリア クール	SBC6+A6+FL6	18	23.4	41.3	38.8	18.9	42.4	10.8	0.29	0.26	2.4
		SBC6+A12+FL6	24							0.27	0.24	1.6
		SBC8+A6+FL8	22	23.1	40.7	35.4	18.2	46.4	10.2	0.30	0.26	2.4
		SBC8+A12+FL8	28							0.27	0.24	1.6
		SBC10+A6+FL10	26	22.7	40.0	32.4	17.6	50.0	9.5	0.30	0.26	2.4
		SBC10+A12+FL10	32							0.27	0.24	1.6
		SBC12+A6+FL12	30	22.3	39.1	29.9	16.8	53.3	8.7	0.30	0.26	2.4
		SBC12+A12+FL12	36							0.27	0.24	1.6
	ブルー グレー	SBV6+A6+FL6	18	13.0	42.6	27.4	21.5	51.0	15.4	0.34	0.30	2.5
		SBV6+A12+FL6	24							0.32	0.28	1.7
		SBV8+A6+FL8	22	12.9	42.2	25.5	20.9	53.7	14.8	0.34	0.30	2.5
		SBV8+A12+FL8	28							0.32	0.28	1.6
		SBV10+A6+FL10	26	12.7	41.5	23.4	20.1	56.6	13.9	0.34	0.30	2.4
		SBV10+A12+FL10	32							0.31	0.27	1.6
		SBV12+A6+FL12	30	12.4	40.5	20.6	18.9	60.6	12.6	0.34	0.30	2.4
		SBV12+A12+FL12	36							0.31	0.27	1.6
	プレミアム クール	SBR6+A6+FL6	18	21.2	58.0	38.7	25.9	35.3	15.9	0.37	0.32	2.4
		SBR6+A12+FL6	24							0.35	0.31	1.6
		SBR8+A6+FL8	22	21.0	57.4	35.9	25.3	38.8	15.3	0.37	0.32	2.4
		SBR8+A12+FL8	28							0.35	0.30	1.6
		SBR10+A6+FL10	26	20.7	56.5	32.9	24.4	42.7	14.3	0.36	0.32	2.4
		SBR10+A12+FL10	32							0.34	0.30	1.6
		SBR12+A6+FL12	30	20.2	55.0	28.9	23.2	48.0	13.0	0.36	0.32	2.4
		SBR12+A12+FL12	36							0.34	0.30	1.6

※紫外線透過率はISO 9050、それ以外の性能はJIS R 3106およびJIS R 3107に準拠して算出しています。

製造可能寸法

構成要素板 ガラスの種類	最大寸法 (mm)※3		最小寸法 (mm)
	※1※2	制約面積 (m ²)	
⑥+A6+6	3400×2200	4.0	200×70
⑥+A12+6		6.0	
⑧+A6+8		6.0	
⑧+A12+8		7.7	
⑩+A6+10		7.0	
⑩+A12+10		7.7	
⑫+A6+12		7.0	
⑫+A12+12		7.7	

※1 表中のAは、中空層です。

※2 ○印はLow-Eガラス

※3 製品の最大寸法は、中空層によって制約を受ける場合があります、左記にて制約面積がある製品の最大寸法は最大寸法内かつ制約面積内である必要がありますのでご注意ください。又、使用する素板によって寸法上制約を受けることがあります。詳しくはご相談ください。

注) 3枚以上の多層複層ガラス、および表記以外のガラスの組み合わせやサイズについては、お問い合わせください。

サンバランス®のご採用にあたって

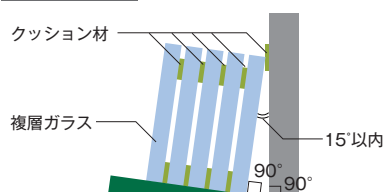
■ 設計・施工上のご注意

- 複層ガラスは、有機材料によってその機能を得ていますので寿命のある商品です。その機能を長期間保つためには、サッシ枠との納まりが重要な要因となりますので、複層ガラスの納まりや施工等に関するご注意を必ずお守りください。
- 複層ガラスは、あらかじめ工場で組み立てられますので、製造後の切断はできません。正確な寸法で、かつ横(W辺)と縦(H辺)を指定してご注文ください。
- サッシはJIS A 4706に適合し、水抜き機構を備え排水が速やかに行われる構造の精度の高いサッシをご使用ください。
- 温度70℃以上や多湿の環境下では、封着材の耐久性が著しく低下して寿命が短くなりますので、このような環境下でのご使用は避けてください。
- 複層ガラスは、密封された中空層の内圧変化により、ガラスに若干の反りが生じ、それにともなって、反射像にゆがみが生ずることがあります。
- 複層ガラスを標高1000m以上の高地でご使用の場合は、中空層の内圧による破損有無の確認が必要です。ご注文前にご相談ください。また、中空層12ミリを超える複層ガラスや<サンバランス トリプルガラス>は、特に内圧によるガラスへの影響が大きいため、標高1000m以下でのご使用の場合でも、ご注文前にご相談ください。
- ご使用になるサッシの断熱性能が低い場合は、たとえ複層ガラスを使用したとしても、窓としての断熱性能が十分に発揮されません。複層ガラスを使用する場合は、サッシも断熱性能及び気密性能が高い製品をご使用ください。
- 網入・線入複層ガラスは熱割れが起きやすいため、ご使用にあたってはサッシとの納まりの検討のほか、熱割れ計算によるご確認をお願いします。
- 小口を露出したり、突き合わせたりする工法などガラスエッジ部がサッシに呑み込まれない納まりは、封着部の劣化の原因になりますので、避けてください。

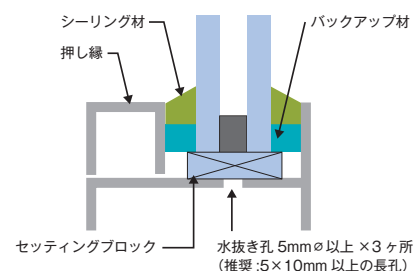
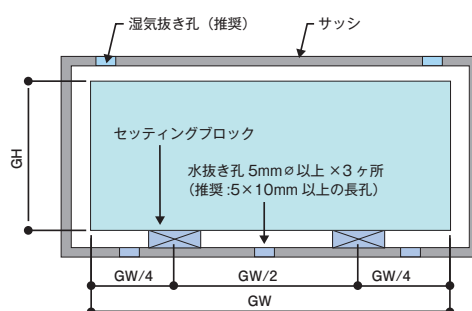
- 網入複層ガラスをトップライトやプールの窓などにご使用の場合は、小口に複層ガラスの封着材を厚く塗布するか、プチルテープを貼るなどして、網入板ガラス切断部の防錆処理を施してください。
- 複層ガラスには下辺及び室内側を指定するラベルが貼ってありますので、ラベルにしたがって施工してください。
- 複層ガラスを現場で保管する場合は、必ず直射日光を避け、風通しの良い室内に保管してください。また、保管時は図のような状態にしてください。
- 封着部は、長時間水浸の状態にあると劣化が早まります。溝内に浸入した水を速やかに排水できるよう、サッシの下枠には直径5mm以上の、排水に有効な水抜き孔を3ヶ所以上設けてください。
- 封着部を保護するため、シーリング材はJIS A 5758に規定する良質のシリコンシーラント、またはポリサルファイド系シーラントをご使用ください。ただし、酢酸系シリコンシーラント、有機溶剤の入ったシーラント、油性バテは使用しないでください。
- 構造ガasket、グレイジングチャンネル、グレイジングビードを用いた施工は、浸入した水が排出しにくいいため、避けてください。ただし、グレイジングビード構法の場合は、両側から施工するセパレートタイプで呼び厚さ6.8ミリ以下の素板で構成される複層ガラスを、簡易な建築物に使用する場合に限り使用することができます。この場合グレイジングビードは、JIS A 5756に適合する良質のものをご使用ください。なお、グレイジングビード構法では、下辺にセッティングブロックの敷き込みが必要です。
- セッティングブロックは、ガラスの重量を支える大切な材料です。クロロブレンゴム、EPDM系のゴムには封着部に影響を及ぼすものがあります。影響を与えない材質の選定やボンドブレイカーを貼るなどして封着部と直接接触しないような処理をお願いします。住宅用の軽量なものには、塩ビもご使用になれます。
- 各種クリアランス・かかり代などの納まり寸法は、AGC板ガラス建材総合カタログ商品編の「板ガラスの納まり寸法標準」に準じてください。

- 複層ガラスのかかり代は、紫外線の照射による封着部劣化を防ぐ目的で設定された値です。また、エッジクリアランスは、サッシ内に浸入した水を容易に排水できるように設定された値です。いずれも、複層ガラスの耐久性において重要な意味を持っていますので、必ずお守りください。
- 平積み保管はしないでください。
- 内圧破損の危険性が高くなるため、複層ガラスに使用するガラスの厚み差は4ミリ以内としてください。
- 複層ガラスを構成するガラス品種それぞれのご注意も、ご一読ください。
- トップライトにご使用の場合には、万一破損した場合の破片の落下防止のため、合わせガラスか網入りガラスを使用、または室内側ガラス表面に飛散防止フィルムを貼ってください。飛散防止フィルムを貼る場合は、熱割れ検討に基づいて使用可否の判断をしてください。
- バックアップ材は、発泡ポリエチレンフォーム、クロロブレンゴムなどをご使用ください。バックアップ材は、先付け、後付けとも、熱割れを防止するため、断熱効果のあるものが必須です。
- Low-E膜(金属薄膜)は非常に薄い膜ですので消火活動などのガラス破壊作業には支障ありません。

保管の仕方



納まり



■ 使用上のご注意

- 複層ガラスの性能・機能を長期間保つために、以下の使用上のご注意を必ずお守りください。
- 複層ガラスの表面にペンキを塗ったり、紙やシールなどを貼りつけることは、熱割れの原因になりますのでお止めください。また、万一破損した場合の破片の飛散防止を目的として飛散防止フィルムを貼る場合は、熱割れ検討に基づいて使用可否の判断をしてください。
- 複層ガラスを透視すると縞状の模様が見えることがありますが、これは光の干渉によって見えるもので異常ではありません。
- 複層ガラス製品には、原則として右下に、製品仕様や製造年月などを記号化したマークを表示しています。製品に不具合などが生じた場合に、この記号から製造履歴を確認する場合がありますので、削ったり消したりしないでください。また、マークには、微細なガラス片が付着している場合があります。指などでこすると、ガラス片によってケガをする場合がありますので、マーク表示には触れないでください。
- 外観を美しく保ち、性能を長く維持するために、2～3か月に1回以上の頻度でクリーニングを行ってください。
- クリーニングは、水洗いをした後、乾いた布で拭いてください。水洗いで取れない汚れは、市販のガラスクリーナーや中性洗剤を浸した布で汚れを落とした後、水洗いをして乾いた布で拭いてください。塩素系のカビ取り剤や漂白剤は、複層ガラスの耐久性に影響を及ぼす可能性があるため、使用しないでください。
- 外壁などを洗浄する際に、強酸性や強アルカリ性の洗剤や薬品を使用する場合は、ガラスに付着しないよう、養生をしてください。万一付着した場合は、水で洗い流してください。
- 高圧洗浄機や大量の水を使用したガラス洗浄は、サッシ内に水が浸入する要因となります。サッシ内に浸入した水が滞留すると封着部劣化の原因となりますので、そのような洗浄は避けてください。

● おことわり

- 温度や気圧の変化による中空層の内圧変化の影響で、ガラスにたわみが生じます。また、製造時の反りや封着によるゆがみ、施工のゆがみも皆無ではありません。それにとまって、反射映像がゆがむ場合がありますのでご了承ください。
- 室内湿度が高い場合には、室内側ガラス表面に結露を生じることがあります。換気などをして、室内湿度が下がると結露は減少します。
- ガラスの品種・寸法などは予告なく改廃する場合があります。
- サッシの乱暴な開閉は、製品に損傷を与え、機能を低下させる場合もありますのでご注意ください。
- 複層ガラスはその構造上、反射像が二重に見えます。また、温度や気圧の変化による中空層の内圧変化の影響でガラスにたわみが生じて、反射映像がゆがみます。
- 温度や気圧の変化に伴う内圧変化の影響により、封着材が中空層にはみ出してくる場合があります。特に縦横の寸法差が大きな細長い製品では、顕著に見られる場合がありますが、品質には影響はありません。
- 中空層にガスを封入した複層ガラスは、経年変化に伴い、中空層のガスが抜けてガラスが凹状に変形する場合があります。特に二次封着材としてシリコーン系シーリング材を使用する場合は特別な管理が必要です。予めご相談ください。
- 中空層内の乾燥状態を維持するため、スペーサー内に吸湿剤を入れています。まれに中空層内に見られる白っぽい粒状の物質は、この吸湿剤ですのでご安心ください。
- アルミスペーサーには継ぎ目が生じます。継ぎ目の位置をガラスごとに合わせてはできませんのでご了承ください。
- 複層ガラスに貼り付けられている各種シールは、製品仕様を判りやすく表示したものです。シールそのものにつきましては保証を行っておりません。お引渡し後、ご使用環境によってはシールが剥がれる可能性がありますので、その際は除去してください。（現在、各種シールの貼り付けは終了しております。）

- Low-E膜（金属薄膜）は、それぞれの反射色をもっていますが、見る角度、光線の当たる角度などによって、若干の干渉色が色ムラのように見える場合があります。また、コーティングの際に若干のピンホールを生じることがありますので、ご了承ください。
- 携帯電話などの電波機器のご使用時に障害がでる場合があります。

この他、AGC板ガラス建材総合カタログ商品編の「ガラスを末永く安全にお使い頂くために」、「技術サポート・ご注意」に記載した内容もご参照のうえ、必ずお守りください。

品質保証について

■ AGCグループの品質への取り組み

AGCグループでは、「AGCグループ品質基本方針」を定め、製品・サービスの品質向上に取り組んでいます。

■ 保証ガイドライン

《板ガラス建材製品に共通の免責事項》

保証期間内でも次の場合には保証対象外となります。

- ・使用上の誤り、及び不当な改造や修理等、人為的原因に起因する不具合（ガラス表面に塗料を塗ることや、フィルムを貼ること等を含みます）
- ・天災その他不可抗力（例えば、暴風・豪雨・洪水・高潮・地震・地盤沈下・落雷・火災・津波・噴火等）に起因する不具合
- ・保証対象外であることを事前にご了承頂いている場合
- ・AGC指定の標準施工方法及び設計上、施工上、使用上、メンテナンス上の注意事項を満足していない場合
- ・引渡し当時実用化された技術では予測困難な現象に起因した不具合
- ・熱割れによりガラスが破損した場合

■ 保証期間の考え方

製品の保証期間は以下に定める保証期間に限るものとし、不具合により製品を交換された場合でも、交換後製品の保証期間は当初の製造月から保証期間経過時とさせていただきます。

■ 補償方法

代わりの製品を原則納入・施工した取扱店を通じ無償で出荷致します。

■ 補償範囲

保証期間内の製品に、保証性能項目を守れない不具合が生じたときには、代わりの製品を無償で出荷させていただきます。但し、施工費用につきましては補償の対象外です。なお、不具合が生じた製品を既に発売中止とさせていただいている場合には、同等品種または近似品種での代替、または販売金額の払戻しで補償させていただくことがございます。

■ 保証内容

製品群ごとの保証性能項目、保証期間を次の通り定めています。

【複層ガラス製品保証内容について】

注) 1998年4月以降に製造した製品とさせていただきます。

製品名	保証性能項目	保証期間(製造後)	保証期間内でも次の場合には保証対象外となります
サンバランス	複層ガラスの中空層内結露(ガラスとガラスの間の中空層での結露)が生じないこと Low-Eガラスが変色しないこと	10年	● 中空層の外側(室内側・室外側)に結露が発生した場合 ● 複層ガラスに組み込まれた板ガラスに亀裂または破損がある場合 ● 標高1,000m以上でのご使用で、事前にお打合わせが行われなかった場合 (中空層12ミリを超える特殊複層ガラスや〈サンバランス トリプルガラス〉は内部圧力が大きいので1000m以下のご使用でも事前にご相談ください。) ● 垂直にご使用でない場合 ● 高温または多湿の条件下のご使用で、事前にお打合わせが行われなかった場合 (温水プール、サウナルーム等) ● 複層ガラスにAGCのマークが打刻されていない場合(*1) 注) その他ガラス構成によっては保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

(*1) 製品に打刻されたマークにより、AGC製品であること、製造年月等の履歴を確認いたします。2007年4月より保証期限の打刻を追加しました。

表紙の写真



1 日本製粉本社ビル
採用品種: ブルーグレー
設計施工: 鹿島建設
撮影: 川澄・小林研二写真事務所

2 日本コカ・コーラ本社ビル
採用品種: アクアグリーン
設計: 光井純&アソシエーツ建築設計事務所
オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
施工: 大成建設

3 日本橋日銀通りビル
採用品種: プレミアムクール
設計施工: 竹中工務店

※写真等は、印刷上実物の色とは多少異なります。
※このカタログに記載されています仕様・数値等は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

AGC株式会社 建築ガラス アジアカンパニー

<製造・販売元>

AGCグラスプロダクツ株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野 4-24-11 NBF 上野ビル

☎ 0570-001-555 (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

※お掛け間違いのないよう十分にお気を付けください。

Tel 050-3377-5419

16030-00132 | 2021.07SZ

[受付時間] 9時～12時・13時～17時(土・日・祝日はお休み)

詳しくはガラスの情報サイトGlass Plazaまで

ガラスプラザ |

検索

URL <https://www.asahiglassplaza.net/>

お問い合わせ先